

## 第3学年 国語科授業実践

- 1 単元名 登場人物について考えたことを、つたえ合おう  
「モチモチの木」

### 2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、叙述をもとに場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人ひとりの感じ方などに違いがあることに気付いている。	・積極的に文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。

### 3 教材のとらえ

「モチモチの木」は、臆病な豆太が、大好きなじさまのために、真っ暗な山道を勇気を振り絞って医者を呼びに行くことで、灯がともったモチモチの木を見ることができるといいう物語である。教科書では小見出しの付いた2つの場面に別れていて、特にクライマックスでは、緊張感を持って豆太に寄り添って読むことができる。

また、「モチモチの木」の特徴の一つに、語り手の語りがある。この物語では、登場人物は語り手の見方や考え方を通して語られていく。児童は、読み手として語り手に寄り添い、語りや豆太の行動や会話文に着目することで、豆太について考えていくことができる。さらに、切絵も特徴的であり、挿絵から伝わる情景や心情も多く、読みを補うものになっている。

本時では、「豆太は変わったのか」について考えていく。最後の場面で、しょんべんにじさまを起こす様子から、「変わっていない」と考える児童がいると考えられる。また、中には最初から勇気は豆太の中にあっただから、それを出しただけで「変わっていない」と捉える児童もいるであろう。反対に、じさまのために勇気を出せるようになったことや、自分にもできること、勇気があることに気がついたことから、「変わった」と考える児童もいるだろう。このような考えのずれを大切にすることで、児童が自分の考えと友達の考えの共通点や相違点に気づき、豆太の人物像を自分なりに捉えていくことができるようにしたい。また、話合いの中で「成長したのか」と問い返すことによって、豆太の成長に気付いていくことができるようにしていきたい。



#### 4 本時の指導案

##### 本時の目標

「豆太は変わったか」の話合いを通して、豆太の成長に気付くことができる。

学 習 活 動	教 師 の 支 援
1 学習問題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の内容を想起し、学習問題を確認する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">豆太は変わったのかな？</div>	
2 本文を音読する。  3 豆太は変わったのかについて話し合う。 変わっていない <ul style="list-style-type: none"> <li>・弱虫に戻っているから。</li> <li>・最初と同じように、じさまを起こしているから。</li> <li>・一人でおしっこができない。</li> <li>・臆病に戻ってしまった。</li> </ul> 変わった <ul style="list-style-type: none"> <li>・勇気を出せた。</li> <li>・じさまを助けるために、医者様を呼びに行けた。</li> <li>・一人で夜助けを呼びに行けた。</li> <li>・モチモチの木の灯を見ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時は本文全体に渡っての話合いになるため、学習問題を作るきっかけになった一部分を音読するように指示する。</li> <li>・ペアトークをして、自分の考えを確かめ、自信を持てるようにする。</li> <li>・ネーム磁石を使用し、立場（考え）をはっきりさせる。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">豆太は成長したのかな？</div>	
豆太は成長した <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は、モチモチの木の灯を見るのを諦めていた。</li> <li>・自分で臆病だと思っていた。</li> <li>・自分にもできることがわかった。</li> <li>・優しさがあれば、勇気が出せることがわかった。</li> <li>・成長したから、モチモチの木の灯を見ることができた。</li> </ul> 6 本時の学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・話合いを通して考えたことをノートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変化には気付けても、成長に気付いていない場合がある。また、もともと勇気は豆太の中にあったと答える児童もいる。そこで、「成長したのかな。」と言葉を変えることで、豆太の成長に気付くことができるようにする。</li> <li>・ペアトークをして、立ち止まることができるようになる。</li> <li>・以前の豆太と、灯を見たあとの豆太に分けて板書することで、違いがわかるようにする。</li> <li>・話合いをして分かったことや、自分の考え、考えの変容をノートに書けるよう何を書けば良いか声掛けをする。</li> </ul>